

# 考・努・感

尾張旭市立旭中学校

旭中学校ウェブサイトもご覧ください。

<http://www.owariasahi.jp/asahi-j/>

## 懇談会を生かす！

「よかった～、あまり言われなかった！」

「勉強のことで、めっちゃ叱られた！」

懇談会を終え、みんなの口から出てきた言葉です。懇談会を控え、どんなことを言われるのか心配したり、緊張したりしていた人もいたようですが、懇談会を終えた今、心にどんな気持ちが残っているでしょうか。ホッとしている人もいるかと思いますが、大切なのは“これから”です。中学校で三者懇談(生徒・保護者・担任)を実施している理由は、本人により自覚をもってもらうことをねらいとしているからです。懇談では、担任の先生から生活面や学習面において、頑張ったことや成果、また課題などについて伝えられたと思います。大切なことは、今回伝えられたことをどのように生かしていくかです。頑張ったことや成果は、さらに伸ばしていけるように努力し、課題は少しずつ改善していくことが求められます。今回の懇談を通し、さらに自分自身を高めていけるように、3学期からではなく今から自分自身の取り組みを見直していきましょう。

### ☆“人”から学ぶ☆

大隈良典さん(ノーベル医学生理学賞受賞)

「誰よりも長く顕微鏡の前に座っていた」

「素晴らしい仲間や家族の支えに感謝したい」

「純粋な心で疑問を持ち続けることが大切」

「(今回オートファジーが受賞対象になったことで)

基礎研究の大事さを語っていると思う」

今回、ノーベル医学生理学賞を受賞した大隈さんの記念講演・記者会見での言葉の一部です。ノーベル賞という世界中が注目する賞を受賞した人の言葉ですが、みんなにも共通する部分があり、「努力すること」「感謝の気持ちをもつこと」「探究心を忘れないこと」「何事も基礎基本が重要」といったように、大切にしなければいけない根本は同じではないでしょうか。



### (今週の予定)

12日(月) 総合：自学の時間

15日(木) 委員会

いよいよ2学期のまとめの時期になりました。冬休み・お正月を控え少し気がゆるみがちになる時期です。今一度気を引き締め直し、授業・当番活動等を大切にしていきましょう。



### 【保護者の皆さんへ】

先週はお忙しい中、また寒い中、懇談会のために足を運んでいただき、ありがとうございました。限られた時間ではありましたが、お子様の学校での様子や学習状況についてお伝えし、家庭での過ごし方などをうかがう貴重な機会となりました。今後も、家庭と学校が協力し、共通理解の上で、お子様の成長をサポートしていけたらと思っています。何かご不明な点やお気づきの点等がありましたら、学校までご連絡いただくと幸いです。今後ともよろしく願います。

# みんなが気持ちよく生活できる社会！

## いじられキャラの本音

川崎 裕太 大学生

(愛知県稲沢市) 21歳

中学生ぐらいのころから、小さいながらも集団という組織を意識するようになる。学校という大きな枠組みがあって、その中にクラスや部活などの小さなグループが存在する。いろいろなグループに属しているうちに、役目が変わって行くことが多い。笑わせ役、まとめ役、癒やし系のキャラ、そしていじられキャラ。私の場合、いじられキャラが定位置だ。

その中であることに気付いた。いじられることに対して

理解している人と誤解している人がいることだ。前者には配慮があり、限度を分か

かかっていて一線を越えることはない。しかし、後者は「こいつには何を言っても許される」「笑わせてやっているのだからありがたく思え」と言わんばかりの態度であることが多い。

一線を越えればそれは笑いでなく苦痛であり、いじめとみられてもおかしくなくなってしまう。グループ内での円滑で楽しい生活を望むのであれば、一定の思いやりと自分を振り返る謙虚さが必要だそう。

12月5日(中日新聞)

「いじる」この言葉を聞いて、何を感じますか。どんなことを思えますか。みんなの会話を聞いていると、この言葉を耳にする時があります。正直、私はいい気持ちにはなれません。むしろ、さみしく感じます。

今、『人権週間』『人権月間』ということで、様々な取り組みがされています。この機会に、自分自身の発する言葉・何気なくとっている行動について考えてみましょう。みんなは『家庭』『学校』など、様々な集団で生活しています。決して一人で生活している訳ではありません。自分の発した一言が、自分のとった何気ない行動が、周りの人を傷つけてしまっていることはないでしょうか。『思いやりと謙虚さ』こんな心をもって生活できたら、きっとみんなが気持ちよく、安心して生活できる社会になるはずです。

